活語彙

831
14
12

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

三

活用云語彙 多行綜行

活用云語彙 多行綜行

三

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

一 四段

四段 多行

一 あかつ 班

図 擺 文選 頌 月 あかつハあらつと[illegible]同し阿加ハ[illegible]のつねの[illegible]よ[illegible]例[illegible] 文選 十二

西京賦 張平子 置互擺披 披 牲 頌 賜獲鹵 注 張銑曰頌 布也 擺 謂披破

建武[illegible]中 廿ウ 義 [illegible]て 牲體 以布 賜 士卒 図 晴 中 三 十 を[illegible]きき人びとに[illegible]つ[illegible]れ[illegible]ろ[illegible]よ[illegible]ね

[illegible]七月[illegible]おの[illegible] 廿六オ 次の月内 [illegible]ハ[illegible]と[illegible]て[illegible]をあかち[illegible]るに[illegible]も[illegible]き[illegible]れハさ[illegible]

あかち[illegible] あかちもし[illegible]てか[illegible]ハ[illegible]より[illegible]りて 図 七 武[illegible]た[illegible]月[illegible]を[illegible]

[illegible]めし[illegible]あかち[illegible] [illegible]のころをさ[illegible]月の[illegible]と[illegible]めてあかつをとめの[illegible]を[illegible]る

[illegible] あかち [illegible] 図 あかちて[illegible]せるのもろ[illegible]へ[illegible]るくらしよるハ[illegible]の[illegible]こそ[illegible]れ

[illegible]之 [illegible]ろさるのまつ[illegible]て[illegible]つせるの[illegible]も[illegible]き[illegible]て[illegible]ある[illegible]

明[illegible] 六 [illegible]あかちてハまつ[illegible]の[illegible]と[illegible]て[illegible]てあかちてハ[illegible]とり[illegible]

図 明[illegible]と[illegible]よ[illegible]ハ[illegible]を[illegible]る[illegible]や [illegible] 此説イカヽ

記 傳 五十 一 名賜其曙 三十三 一 [illegible] 二 傳者 師木登美豊 朝倉 曙立王 一

一 あふつ 和訓栞中編 扇き撫つの訓[illegible]て 播字をよめり 荘子に 播 糠 眯目 と見えたり

又あふるといへり 鈹揚の義に

一 あやまつ [illegible]の[illegible]たる[illegible]の[illegible]あやまち[illegible]て[illegible]

[illegible]かへりみき[illegible] [illegible]いつき[illegible]もあやまつ[illegible]あやまつ[illegible]あ[illegible]

誤 過 図 註 胡卦反 去 誤也 過也 [illegible]也 阿也万豆 誑 方字 反 不正也 誤也 阿也万豆 謬 阿也万豆 [illegible]

[illegible]あやまち

大正 4 2 15 購求

国立国会図書館　タイトル『活語彙』 請求記号 831-12

ガラス使用

あふさ 昂井あふ男あり ふさ
いよう 四方 陪鯤 ヒ上同
三十ヲ山物国 紫方山頂 和光垂瑞 宛如月星 光照耀遠満
其間身も堅之 曝次 俊乱 夫木 第 心許
多されいまもなくそ 心許 歌 恐惶
あふつ 應神紀 ヲカタ世 もの ヲフチシ」 誼
いなし ヒタシヒタフナト 同例
いひろ 言 清
いよぐる 日ごこの
うつ 折 膳 闕 撲 滅 如火し煉于原 不可勝計 習 撃也宇豆
格殺 勿捕而已 史記 討殺 図 楔 丁格反
いりこう 入立 駆集一ノ声ナリ

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

・うくもつ 墳 [紀]十九ノ廿丁ウ 鉅野墳(ウクモチコエ)艘

・うひぶろ 冬かしたもゑ 多毋米 呼つるひろふとさとえい あのまをかりてきくろきあそ
大きなもなうひもろまるあらね まろいとそ あまま あのおす

・おしふろ [運歩] 迫(オシフルヒ) 追

・うふろ [運歩] 彦(ウフタツ)立(タツ)享

・あとつ 漢高祖紀 章邯従(ツキ)陳別将(ニ) 師古曰 從(ヨリ)謂(ヲ)追(ノ)討(ツ)也 晋書曰 夏(ノ)師 敗績(ヲ)陽夏(ニ)登(ル)之

かつ 勝

・かつ 鵠 [運歩] 鵠(カツ) 木+鵠(カツ) [類名] 搗(コク カツ) 擣(ヲ)倒(ニ)之 鵠 或 鵠 亦

かこつ 託 又 哭

[古今序] それまろうてをかつまのものゝあはれをさぐしてそなしきなの秋の
よのあろみをかこてゝそれハかつハ人の耳におそろかつハ哥の心にもちひとを
[五葉] おそのあハれ至ふ哥のふるまなるうきの拙いもをかこつておかひやなきん
[山家集][千載]之 西行法師 ハなくとそ月やハ物を思いもろかこちかほなる
わうなみちつき 白氏文集 廿一 等詩 猿苦(テ)嬾(ク)月 鶯嬌(テ)語(ル)訊(カコツ)風
[運歩] 誑(カコツ) [壒嚢]立 立方かしいをかかつことて あるし あるハ人のうきまちなせそ 浪花古今集 註入
又 さのまやハうきらすのそろみうこ 陸游 秋のゆきのさそふ問を
[万葉集] のつくまハたろしも庸さなくなるのしらいとちりゆる音の秋とらきかなと云波奇を

国立国会図書館　タイトル『活語彙』 請求記号 831-12

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

くづる　降
ちる十 衣くづるみわすれてとれも川瀬とありしもさるよなくてくろくろ
又かくづそてなくりかそうへしくに　まゝのハもとあびきつくれ
注 あくくろハ…のあるとなり

・くうくつ 圏 挑 側買子字三反 掉也 制手 挽田桃 手足久弥天打

・くきろ かきる三オ いつくらとくしきくつるめ

けつ 消
東屋共 かきちかき人ハ人をけつこそまくれ
そこいろまりちかくんな
なをいけちをてまつん
源氏 おもひしと思けてとそけされめいふろはさくくきこゆる
続拾 秋 新院ヘ金のきつしねてる手あをたけるけつ名の飲み
字 ゆきの朝のおくるめのさむさを小稚子のそれそけつへるらん
圏 くつしよりうきる月のころちるハこれしてけつきとりてもの
燈燈燼蓋熾 火 大 物同 子廉反 燼者似進 知云二反 去謁 火滅為 燈 燼火餘木也
火介和手佐年 又保太久比 なるの 諸 イヒケツ

どつ
ねごつおもし 帰 士オ 言そとうちひとりこてうるみ 九牙ひとつうつうを手を
なつりころきるへきありねハ サハラアラニツの名ろうふをきけとさんことは
こう侍しと
コノごつハゴトスノ約ニト侍ルニアリ

こつ
圏 剥 取也
棗

こそごつ 事立
(二股もアリ)
とうづつ 壊
常ニありて 雑九事ヲ云ルニ云 伺物 正月すれハ こと ころそく

ところ
神代紀 十六才
專有威命 コロタチ 又

ころつ 晏中十一 猶欲屠陥 屠 佐加知夫

・ここうつ 圖 咤噴 上ハ都嫁反 咤噴也 叱 猶呵叱也 志太宇豆

・志つとうごつ 後言
紫日下廿九 むかしハ経よむをうる人ハせいしきとありうこちいふをさ

国立国会図書館　タイトル『活語彙』 請求記号 831-12
ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

[墓俊皇] 辛三丁 西俊山氷へ

[古] 山のおとくるやかくこそ

[則雄] 谷原と 岩ほをとぢつ

[古] 白川は老くらくも

[古] 山よりてつふるうこそ

[古] 七世、あきをいへ人ーりは

[古] 山のたきつをせうへ

[古] 山川のたきつををうへ

[古] 九うさ 落多葉を知流めをいそうふ

[古] 十村 今りてさくあうもあそろ川

[古] 十里 陸をおく落當知足白浪

[古] 土世 そるふのいそすて瀧千ちくめのお

[古] 夫サ うちつけまのをふの秋をを

[古] 義川云助舞のつと笑てハ

[古] 伊勢あ集そる白川せき入てあとをそう

[古] 那跋古せ ーーんそうそうーをこ

[古] たきの〜落ちいくほのせうへ

[古] 山吹集中三丁ほととぎす

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

てもつ 手持（保） 運歩 擡ツ 捯ョ 掬ョ チヤウド

・てうつ 運歩 向亭（テウツ） 河由 色葉 拵（テウツ テスル） 拚 拃 已上テウツ

・ちやうづ 字 媒ハ 草菜ノ互平ノ均也 奈加大豆

・なげうつ 運歩 擲 抛（ナゲウツ）

・のりごら 継体紀 ナミウ 孤 崩 㓵

めぐくつ

すづて

ながつ 放 運歩 舎矢シ——如破 毛詩

かながの軒者飛ハ 於布流 俗云 波豆云

・たくつ 羽打シ ～～～～ひて天～～～

・たぐつ 放ツ 神代巻 䒵 柴 槽 此云 波多之 夕比 ハかかりの 爲秘 鳥獣 者

・ちるうつ 字 詳本 噴ハ又作 歕 或作 濆 普寸反去 嚔也 波奈比 字 嚏ハ丁計 弟計二反 又 竹甲反入 噴鼻也 鼻ナ 打 ○ 嚏ハ 上字 或本作

・あらふつ 腹之

〔萬葉〕〔後拾遺〕下ノ十二 風はふくみもなくてはなはあしつどわらのあらふつ咲き 朝仕 先後

あらふとき

〔後撰〕赤染衛門 恨むる事侍りける頃 つりしける 白波のよせくれハしおなぬくしく見あるきらんさし

〔林葉集〕 契後隠恋 〔拾〕二五 ねまきてあげる日ハあらふしく 春さのやといひてもさらに又かくるる社そのうへにて

先達ハ同し 上二句ニ

八巻 ひつ 活 書上

ひつ 浸、漬

ひづ 日 五十五 昔 紀の有常のあそそひつちの望み おもめれて 同九 ひつちの如しき 可己これもひつ ト活 ナル語見エズ 無活言 トスヘクヤ ひぢてトテ ニテ ウテ 又ハ四段中二段ノ差別なし 中二段ミモ ひちて後を出せり者之

此詞も此行の中二段にも活きて 〔古〕夏 〔萬〕十二 〔續古〕十一

五十一 わきもこの 〔萬〕之 三 そでひちてむすびし水のこほれるを 人の袖も泊らし ちとせの心漬(ヒヅ)まてみえし 四段ノ活 四段中二段同活

おもしろき此所にくれてあり 見ハ遥かよみそ見るたまのひつをくらん 四段ノ活

〔古〕 春 池よひつ行の 神のますてみ人の心に白金のおもきとぞる 神のむまにひつ 四段ノ活

〔新〕十五 いさやまた 続古十一 袖のひるまや なきき 四段ノ活 此詞此行ノ中二段ニモ活キテ同意之

〔夫木〕雑十八 我をも知をとふそのとも手の御のぬきしうまかり 四段中二段同活 日上入かくしをて いけのすまみ枝ひそそ

ひづろ 日立

ひたち 常陸ハ漬(ヒタス)は古くハ多行ナルしるや 漬(ヒツ)と同例なるへし 〔常陸風土記〕云 常陸国(ヒタチノクニ)

所以然號(ヒタツ)者或曰倭武天皇巡(メクリ)狩(カリシテ)東夷之国(ニ)幸(ミユキシテ)過(スギ)新治之縣(ヲ)所(レ)遣(ル)国(ノ)

造毘那良珠命(ニ)新(タ)令(メテ)掘(ラ)井(ヲ)流泉浄澄(ク)尤(モ)有(リ)好愛(ス)時(ニ)停(メテ)乗(リ)輿(ヲ)翫(モテアソヒテ)

水(ヲ)洗(アラフ)手(ヲ)御衣之袖(ヲ)垂(ツリ)泉(ニ)而沾(ヒヂタリ)便(チ)依(テ)漬(ヒタス)袖(ノ)之義(ニ)以(テ)為(ス)此(ノ)国之名(ト)風俗(ノ)諺(ニ)

云筑波岳(ツクハノヤマ)黒雲(ニ)挂(カカリ)衣袖(コロモテ)漬(ヒタチノ)国是矣

ひたりごろ 横言

・へしもち 斂 [illegible]

[illegible]やもん

・へつらふ 諂

万五 [illegible]

信友云 明 [illegible]

まつ 待 運歩 待ツ 候

[illegible]

万八 [illegible]

[illegible]

まつりごつ 政

・まめごろ 瞋

遊仙 五嫂曰娘子把酒莫瞋新婦更亦不敢酒巡到下官飲乃不呑

・まどろ 目非 [illegible]

○こころ 満

十四 之 [illegible]

中二段ニハ活クナシ

下二段ニハ活クナリ

下二段ニ活キテハ [illegible]

[illegible]

古 [illegible]

後 [illegible]

拾 恋五 [illegible]

万 七ウ 廿九

山口栞中一丁

国立国会図書館　タイトル『活語彙』 請求記号 831-12

ガラス使用

新千載四ふたゝびのはるのはつねまでにうらくさ人のをせうり
院古春上ふるさとはるくれぬ秋の初のかぜうらくさくもむまや
拾遺五いまゝでをうらみつゝ
後拾冬あさぢふ浦風をあさくめるもこほれる天暦御製
拾遺五ふるさとの浦風をだにわするゝ物やなしかねの
ふるさとをかすみこめつゝ春風のうらくさ人のをせうりもみゆ
千載春上俊頼
ゆきていかゞとふ人のさはりなきうらくさ人のをせうりもみゆ
うらくさ人のをせうりもみゆ
東屋思ふ身ごころの
うつゝにて
万三五 女手ふみをおもひやりつゝ
あしんとそ
ここちうき
玉あはれ
万十五 玉一けるはる行と云保美立はあ
現在二作 秋ぐさのうつろふ
毋ふるの日かげ 春月いるれんこあこよ
同 かぐれいもそよふうねも
うつゝなきもの
吟上竜多
一ほのうつゝ
保氏 指花
さねるうつゝ
ゆるうつゝ
金葉 ちるをそうあのこそ
玉葉 ふるさとのあのふるみ
新千載 ほうら浦ふるし
元亨 ふるさとの浦ふるし
ふるさとの浦ふるし
ふるさとの浦ふるし

めりうつ図瞭 智厘瘡反好也嬉也目加利宇豆
眄瞭メカリウツ 玉篇眄 莫見切 説文目偏省也一曰表視俗作眄 図上ヲ二巻 瞭野中
毘於妹女其女媚牡 馬瞭(メカリウツ)之牡瞭(メカリウツ)之言何ニ行ク稲穢ノ
訓[illegible]陽之眄瞭二字
国務[illegible]陽之眄瞭二字 美濃判
瞭女カリウツ又云メミス 図 図書寮瞭字同

禁
兼盛集 ちはをかそそらんをいのる
指若物上宮呼楽文 餅ノ持テ楽ニ
以ハモトモチテヒケレハイヒセヨテ
モチテトヲリ
餅ニもちゐのねなをもわする菜あへ
いとをかしくもてなしたるを

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12
ガラス使用

〇もみぢ 紅葉 此中二條ト考合ヘシ

[六帖] こゝろから山おろしつるでのもみぢまでわれとやさを妹ハいりまぞ

[万]十五 廿五丁 こゝろから山おろしつるでのもみぢ(モミヂ)美都(マデ)麻氐(テ)ねるにてハわがおもはむ（特寝 我思 如何 思）

八 五三丁 あきはぎの下葉ハ秋風も未吹ねばもみぢ(モミテン)毛美照(モミチセルノ約) 今黄物者

十四 三丁 かりがねのさむきあさけの露ならしかすがの山をもみだすもの〔赤カスメ所〕

後 七 秋 雁なきてさむきあさの露ならし竜田の山をもみだすものハ

万 十 九丁 わがせこがちろゝ之衣（ユキフレバ）（キハム）毛美知（モミヂマデ）（ニホヒ又ハヘテ色ニ）ぬれもゝ（ソリヌヘクモ よむへき）〔キハム〕萬（モミツ）のやま山の間

十五 七丁 あしひきの山さちるもみぢ 萬（モミヅマデ）（モミヂヌル）（カヘデ）

八 五丁 田村大嬢 わがやどのもみぢかへるてみるごとに妹をかけつゝ恋めハちし（黄變蝦手）

五 廿六丁 百舟のちるつーきのあきちる山さくれのかるも美多比まうり トヲルハモミチヲ延名ナルヘシ

山口栞中三丁

小若子多行中ニ條子むせうハ

リ口する口ある口ちニ口條く

とも泣くもえかるて

宮ちち もみぢ、もみぢ、もみぢ、もみぢ

トアラレテアルヘリモ思ハレス

萬葉巻にハキバ仏下ヨ結下ヨ

のしかるへりモミテル、モミダス、萬刈ニナ

ふりさそノモミヅトかなニ

カナレハ然ヨ中ヨリ定只東語ニテ

アレハ例ニナシカクレ山口栞ノ説

ラケカメリテモ、初モミツルムツスーレセハ

一種行ノ活ノ活語ニ当リ

作者ワリ花ノトスヘリコワ

〇ゆふだち 夕立 [新古] 孫 [式部集] みそぎのゆふぐれ かきくもりゆふたつ浪のあらけれはうきたる

〇よぐたつ 夜更ぬ 夜降ヶ書 [万]十九 夜具多知（よぐたち）爾 夜異多知尓 又 よぐたちて 夜降而

宮ちち くぐたつハ夜を深しといふ〔〕くだりて夜まつけてし

くぐたち二出

〇よびこゑ [喚子] 呼喚（ヨビコツ）

〇[illegible]

〇中原

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55

国立国会図書館 タイトル『活語彙』 請求記号 831-12

ガラス使用

○中二段

○ひさつる笑

記上 嗤(イサチキ)伊佐知伎(イサツキ)
歌明巻 大息涼泣 記傳七十九

伝りサモアラこカ書紀に恨るより加へテ書名も改高ヤ又泣ノ旨ヲスリテ
ユヲラ伊佐須伎トモ此伊佐知ト本同じ言ニヤ上ニ南倉内枕方そし笑ト有枕も
似タリ万五ノ十立平柿利足演利佐家婢伏仰砌称守知奈気吉ナトアリ」(信友翁意)
青柴垣 記傳 伊佐知流 俗言ノ約ノ徒紀宣長 荒備流トアルも俗言ノ例ニ比かくいふる
約ちー」・仁徳紀古本 伺爾(イニシヘニ)泣ふ

書紀 哭泣(ナキイサチ) 神功巻 血泣(イサチ)

おつる落 図雷陵六旨王関反上落而也阿女名利放反

○中二段

○ひさつる笑

記上 嗤伊佐知伎(イサチキ) 記傳七十九
歌明巻 大息涼泣(ナゲキイサツ)

伝りサモアラこカ書紀に恨るより加へテ伊佐須伎トモ此伊佐知ト本同じ言ニヤ上ニ南倉内枕方そし笑ト有枕も
似タリ万五ノ十立平柿利足演利佐家婢伏仰砌称守知奈気吉ナトアリ」(信友翁意)
青柴垣 記傳 伊佐知流 俗言ノ約ノ徒紀宣長 荒備流トアルも俗言ノ例ニ比かくいふる
約ちー」・仁徳紀古本 伺爾(イニシヘニ)泣ふ

書紀 哭泣(ナキイサチ) 神功巻 血泣(イサチ)

おつる落 図雷陵六旨王関反上落而也阿女名利放反

篇 字鏡 阿天伯
舞 字鏡 太々礼伯
俗伝伝ちー」

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

あづる欛

見上六下 脇息詞 淳和 千 萬葉 惶ミ 圀苞 於豆 安世 あづる 忙怕 於豆 仝出 あづる

○うるる 杤 和面 芸叢中愛ヘ 文出のとも
うるるやうるる 運ぶ 杤 疫
後拾 冬 芳の杤のそそんもしうるそ

○ちてうる 詔 図譜 側禁 鳥禁ニ又去 毀也 誄也 志已反 曙 玉篇 圀語ニ反入遣也 託也 佐倍豆久又志
已上四 孝徳紀 詔テテ 詔ニ 倉山田大臣 皇太子 白さ 続紀 宣命 詔ル 淤ゴ 淤ヲ まをし

ちてうるし 青漆云さうるしぬつそ
詔のすみこくの活こまくこや修の
萬葉の方多くれいこ 信玄云此考つ当カタし 此考行 曙ニ 濁音ナし
トハ云ヘケレトソレモナホ考へべし

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

ひづる 漬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○下二段

下二段

あつる 宛字 [illegible] 物を物にくっつけ

・あはづ 色葉 淡ケハシ義也 曜れ二段れ未詳

・あくつ 落居 [illegible]

・ありぐる 拵 [illegible] 有ルこの時あるそういうふうに

李氏 年ガしあるうちにてきどいしのへ

・あわつる 慌急 [illegible] 慌急 [illegible] 周易 [illegible] あとて上ん

狂言 歩ス いつる 堪百 水堂 冬さもこそし氷をうつくおもて

已カこそ、そくの外のそうそをそそあのさんにうろうそ

いつるそそそ

ようづる 栩本 見中二 菩薩善業 樂 縁

万八三五 りようそそそうろうへくあもも

二段 をろす 読司をそろう

んめ 好 仏云 をう 落居をろ北

2

をつる扉

西天見在 [illegible] 賀 [illegible]

平知母 [illegible] 弥平知ゆ表紙望こと 同十四 [illegible]

天井壁 表紙 [illegible] [illegible]

月 [illegible] 別軸 同月部 やよや又さうみそ

掛物上 [illegible] 弥 [illegible]

書庭云 [illegible] [illegible]

神寿後拾 [illegible]

樂 ヨヤ 運 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

りづる 出

・いづる 運歩 茄イウル

・うつる 齊韋 記上 ぬけ字足 又齊韋ツうつろとよみあり 紀 吹棄此云浮枳于都屡

若菜 六一 此云おほうつろ也 ざうくあいりね又墨打おほ へられそ

・うつる 捉 桐壺 四うとんこゝろおほのみしおはしましてへれハ まとゐせ ちかいおはせてつう

帚木 市法 三丁 ゐそらひ良をおつるおほハうりうことのおとを久んえんとハおかずおはしまそたり

蜻蛉 千任 下六ウ 蓬生 ゆふさのとしこも ちうりうるきんとお月くの姿いおきつるこそ ちょうりくれハ ナカラうう はやかうつる つとうしとくかとあること

奥州後三年記 下六ウ 千任 うへをうちふりそのいたそれそのはらをきらるべきおはしますかうつる

運歩 辿 ヨウロウ シンフスン 辷

節用 辷

辷 ジンテロハスジシラ 擬 同

・かぶる 日本書紀 神代下 以紫美為 カブラヒミツ 私記 以紫春夏冬加多久呂比多之 万津利太万布 高見云私記ニよりて

かぶてと濁らずし 考證 紫美良 後漢書ニ出 清云夜本義ニ作ハ養ノ字

誤ニテ 美養ノ省文ナリ 紫養 カタテト読コト 紫神紀 紫鞦 動メ 欽明紀

紫 カタテ 敏達紀 孝徳紀 紫 カタテ 古史伝 紫ノ七ウ 云義未思得ねと 若くは日紫 カタテ ノ 其は 日を経て

成長み成しむる由そ 此の跋と同意なり

まことにうつし ……

・かつる 和名 二 塵添壒嚢抄 十七 カテ 賤者物ヲ買トテカテハ云ハ増ス心也 欲

一向尺言欲、非ニ増義ニ 六又カン心也 文選 西京賦云 瀬幹良 羅暑

ト云リ 雜字ヲ カンカルトヨムニ カソルモ同心也 三都 指皈ニ由道

カクリスル 梯山林 不扶自直ト居結 是モ カンカルノ心ニ ○ 夫木 巻二 匠花廿一 信

三月サセる 泉の岩か象 ～ きこえてはふくま風ハそやくれと

まらしおかれハ ぬらくなりなくる

かるづる

くいぐるる 企 ホヤ ヨカ こく ゐらくそられみそも

漢高祖死 日夜企 而望歸 仲首企謂 等皇后兼

・そそぐる 痛 太平記 其 移西面帝 侍近 ヨ着

終つる 如 ヨ百官 ヨ人住 ヨ衣裡

悉 ヨ人 ヨ人

・そそぐる 山 ヨ輔 ヨ件 加 ヨ須 ヨ又 雅 ヨ須 ヨ

・そそぐる ヨ輔 ヨ痛 ヨ燕 ヨ支 ヨ曽 ヨ須 ヨ

・そそる ヨ撫子 ヨ殺 ヨ支 ヨ曽 ヨ須 ヨ

・そばそる ヨ老 ヨ 運 ヨ

雅集ハ三

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

うつる幸 立又 圖 運步 調ノ事 急ク之 財ヲ名ル 擬ル

うつろ 立又 圖 運步 調ノ事 急ク之 財ヲ名ル 擬ル

一ニ六 おくつきふるくーめ〻て人のー〻ろ〻くなをこよ
五三 立隠トヨメルハ誤
一ニ七 門立而戸毛閉有手

・うつる 運步 序ノ

次ギテ ヲ活ウヒカル心

・そゝろ 物事ニウトクソゝロニスルヲイフ

あづる 擬

夏中三ノ 摩ノ訳 押也 摩ノ下 運步 擬ル 逢者也 擬也 奈良

ゆけづる 物ニ紀 スケノイテ 擬ル

・そゝる 泊又果 ソヽロニスルノミニアラズ

下ニ出ス

うつる 浸 主をそゝてそもさそゝろ(うつろ)

中ニアルトカハイ流ハ下ニ浸ト云ガ基ナリ サレバ中ニ浸ニ引カレハ自然ト沼ヲ流ルヽ中ニ浸ヲヨメル詞ヲ他動詞ニイフトヨメル詞ヨリ思ズ依テ如此ニ

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

・ひづる 秀

[秀]つのくるのむろのやまもてもそつたやいもろともに

[国]従耳ゝ息雲反音也 勝極白茅也 佐志須と云ヌ比豆

ひづる 秀

[天中三下]異秀獣生者也 秀勝也須久礼木多留

[国]是下の言のいすもひそうろう之一ゐおりめ ろかうよこん

・ふるる 自出 生集 あすかをとろくやうにほのとをそーとそろそろうそい

・ふるる 垂

大和物語下ノ廿丁 みあつのはなうてたきうめれいもふそつ

へぶる

[雲合考]昨[illegible]ヲヘリテモ意ニ体ニ忘ル時ヨリシテ[illegible]

[信濃桐梁]まろんでとゐり能出ヌ比参出ノ自ラ一ノ詞トナンカ如ク

・まろぶる

[国]九十七 [illegible]

[illegible]

杭十音

よそうまろぶる人もなくなりおくつきまろぶれそそのいそ

まろぶ 詣 [運歩]詣

[国]六十七 森る近許之 [仙呂名目]ろれも麻胃与年

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

四段自死
下二段ハ使死
山口栞中丁

・こころ冷満

[未]七 寛元元年四月入門 当日早苗 従五下

こうそうのものさまざまそなへて
八幡ニモ山口栞ニモ此ものをかりて三日かこもり
ナハ社ニーそを思ひくそ
千載神祇 [東組]
ふるをいのる
宮は保拳使 ねぎのそとの門まで
保拳ニ至ル人のねぎのをそそぐ
冊子 十二夜明 [辞] 祈

・めづる [應神紀] 感 其形之美麗 よく感 [メルこと] 長媛

[應神紀] 下十二ウ
おもひうくきこと [朗詠ル之] 管絃之在長曲想 [ル] 図於俗人 [ヲ] こころをやるる [ル] 雅

かなづる奏

古事記上先祭

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

・かぶつる

神代巻下ニテオ 弘仁私記ヨ 以崇養写カタ多シ。此多シ
私記ノ条ニヨレハ多ノ濁音ナルコトシラル 万津利。太古布
崇神紀ニ崇ヲカタノ十ヨメルハ誤ナルベシ 紀ニ本ニ カタテヒリシヨフトアリ
日本紀考證ニ 崇養 後漢書ニ先 士清云 板本美ニ作ハ美ノ
安誤ニテ養ノ省文ナリ 崇美カタテトヨムヘシ 崇神紀 崇重
欽明紀 崇 敏達紀 老能紀 堂 カタテ

・ふづる 菜月のあ 仮名 みつ屋 あまりうおぼえねどいひてゆかんゆえ
なるべくもてきたりきこしめしてまくさせ給ふ
玉お菜さ 大なる日をうけんとてせなかをさしいだしてあるやうにて
捧ささげ 玉串 ささげもてあゆみもよりてなやまうおぼすれば
なるべくもてあるきたるべし
陳列も集 大きなる机 崇重 ささげ
かたりとついつくしきものしてとそへよりてやるそれ
宇治拾遺 猫のつれ 楽ちかくきく
列行之話 燭 燭 同土治徒然 華八幡 湯 同燭 奏也
奈由豆

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

・あざむく 欺文 五三 こころのこころをあざむきて

本行 罪中二段

下二段

いめる寝 図 眠 莫東左眼也目合也祢夫童又鬼 只仰ド知ト重ネテ仰ムケニモ云ヒテセトカラ重テ下ノ調トナル例 オホカリ 図 寐 五十音図 ナ行 ネ段 図 寝 イヌ イヌル 穴 寝 イヌ イヌル 穴 妹 徳瞳眠 宿 已上同

ある第 図 該古来又平備也成也苞也譜平也萬也加祢太利

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

奈セ下二

かすめる 掠　格つくりかたねよみ代のあとくる

からめる 結束 固ナ，世ドしのうちのことを可多袮ちう・建武年中 雲の
かたをとりまはしてすゑて遊く千ゑそてゝ結ねヤ セウ からむ侍り
秘本 カタヌ。カタナニノ糸 扇して さしつる史うゝねヤていつき

・かこめる 肩ニ負 万葉略解 負ヲ負ルヲ俗かくみケルトイヒ 北国ニテハかくねるトモトヅ 言元云かくねるハ 尚云ヿ
肩ニかくるヲカフ 枷 コシ かくね ブリ ト云

こゆる 運歩 和 コエル 信友云 浚 字ヲ コネルトヨミナタリ 浚ハ 字彙ニ 水調ニ
物類ニトアリ 運歩集ニ 和合バ コネアハス

・さめる 寝 固 天地弟下 張世信郎ハ 丘岳の志い蘂ちり しきさめる木を何とあらさと
ふりあわれに 万葉ニ一 右と左は長親ハ歌つく 猶やさめれんあハ
かとのちうひも あれすなる おまよ 堀川次郎 もちなお 仲宣ハ 彦星の
ぢ成もさめる秋い 寺するやこめよあけハあくとても
頭なあへ 岳の山の見えはかしてそあるてさむの月のさやけき　九二九 さめるよハいくらもあらを サハ鮮后

ことめ 固 鰹 奴 磊及鰊 字 魚乃（曽己袮）大令 礼俗 曽己ん
紀行下二段九　良行下二段九

たがめる 束 固玉 たつら杖 腰み多何 麻 挑 テ かくあけバ

つくめる 万七 野飼里ニオ 見られるものをそう多く飼うそうさんあの家が

たづめる 運分 尋 原槻 温 一新知旧

・左だめる 運当 勒 結 把 縛 矢結 一縛 一束 散手集注 取要ほど そうそう
そうそうしてこれをまとめくくるそうする
ものをたばねてある物をこう言うのでは なくて 世話支那草むすび野の
事で百把で四十たばり

つくめる 連

つくめる 運当 担ずる

つづめる 高 蜻蛉日記上廿一。解環上五オ 物のくくりめをしっかりねをとしっかりあの家の
やってあるものをこうそうしてあるのをこうそうしてあるのを
つねぬ ねぶそのものの家ぬひとよろひをひき、
つねぬ ねぶそのものの家ぬひとよろひをひき、
こう 又萬五 取把ノ皇太后ノ大饗ノ日ノ事ヲ叙セル文ノイヒニクキ調ニ
つねぬそさやらひつるる人のつねぬるうつを四ついそれ
こうるさそうなものをこうの人こ集りて毛毯をおそろく厳
にそうをひさうねぬそいものをこうの

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

下二段 ネ ヌ ヌル ヌル
下二段 イネ イヌ イヌル イヌレ
四段 ナニ ナシ ナカ ナセ

ぬる 寝

[illegible]ぬる 連

図 [illegible]

図 併併[illegible] 豆良奴 [illegible] ◦ [illegible] 疋延反 [illegible] 也 止比豆良奴

園上五 天皇下后 寐 太安殿 婚合之時 寐 足袮

[綴詞] 秋 新古今 和泉式部 [illegible]へ すめる人ハ[illegible] 秋の夜[illegible]ぬ[illegible]

色葉 寝 寝 ヌ イヌ 寐 イヌ 衛 睡 眠 宿 上同

雅言集覧 奴ノ部ニ[illegible]

ぬとて [illegible]

ぬるを [illegible]の おくとハ[illegible]ぬるハ[illegible]

ぬべきほど 風[illegible]てあり[illegible]の おく[illegible]ハ[illegible]

ぬる夜 [illegible]その[illegible]の おく[illegible]ぬるハ[illegible]

ぬらあやも

ぬれバぞ [illegible]

ぬらし [illegible]

ぬるり [illegible]

◦ねめる 書紀 下 [illegible] 図上 [illegible]

・ねめる 運歩 俯 [illegible]

一千[illegible] [illegible]

[illegible]

・ねめる 馬ノ

和名抄 [illegible] 駻馬ハ[illegible]馬也 [illegible] 此間云 波祢無石

和名抄 駻ハ 波祢海濃 北山抄 ハノ[illegible] 渋口左右

[illegible] 首書ニ 押紙 [illegible] 元封五年 夫泛 覆駕

駕馬之馬 [illegible] 音方勇反 字本作[illegible] 通用耳

者言馬有逸氣而不循軌轍也

野字鏡 [illegible]

[illegible]

運歩 [illegible] 駁 騂 駻

[illegible]

[illegible]

杜子[illegible]上 [illegible]馬形障子 渋祢 馬也

国立国会図書館　タイトル『活語彙』 請求記号 831-12

ガラス使用

いはる在

（歌集一ノ十三一）

四 秋のゆふべはねとーまことてすてめ（モテイヌノイヨ肯ク）ともいそのかみ

古 秋の田のいほりにともる（何をうしとか人のくるらん）

古下知ノぬし

枕四、いそなれてきるあぢきなき

又云 いねてとやもとをる

嘱吾 慕年さいのめる 云年ハいとゞ

大嘗ノ会ニいのるものゝよこえんかりごんの

の袖よりほかにあるつるぎ

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

831
1
12

国立国会図書館　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『活語彙』　請求記号 831-12

ガラス使用